

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年1月24日(金)	確認目的	工事の進捗、施工品質の管理	
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード			
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>放水立坑（上流水槽）の設置に用いられている、プレキャストの接続方法や防水対策について確認を行った。上流水槽の構築は、土留、土壌掘削、プレキャスト設置、一部埋戻しの順で進められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレキャストである逆T型形状の隔壁ブロック、L型形状の側壁ブロック及び板状の頂版の設置作業が進められていた。（写真1） ・ ブロック間の連結は、PC鋼棒によるトルク連結方法が採用されており、現場確認時には、トルクレンチを用いて六角ボルトを締め付ける作業が行なわれていた。 ・ プレキャストの底板は、現場でコンクリートを打設することになっており、現場確認時には、鉄筋の敷設が進められていた。 			
				
	（写真1）プレキャストブロックの設置状況		（写真2）プレキャスト頂版の状況	
				
	（写真3）プレキャストブロック底板の配筋の状況		（写真4）プレキャストブロック間を接続するためのPC鋼棒のボルト締め付け状況	
<p>【東京電力からの聴取内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上流水槽から地下への処理水浸透を防ぐための、防水対策として、土の上にコンクリート、防水塗装、モルタルの順で敷設し、その上にプレキャストを設置している。更にプレキャストとプレキャストの間に水で膨張する止水ゴムを施している。側面は、プレキャスト外側の全面に防水塗装を施す。 ・ 鋼材への防食対策として、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いている。 ・ プレキャストの寸法、外観検査は、当社社員が、工場に出向いて立会い検査を行っている。 				